環境カウンセラーのつぶやき

ワクワク自然体験のすすめ

森づくり、自然保護、自然観察といった野外での活動が私の多く関わっている 分野です。それは、環境教育といったような身構えたことではなく、野外での活 動や体験を通して何か気づき、多くの人たちやいろんなことに出会い、そこで共 に学び楽しむといったいわゆるアウトドア派です。

最近、各地で行われるようになった植樹会、観察会、森林ボランティアといっ



仁賀保高原植樹会

た催しには、親子で、時には孫を連れ て参加される光景も多く見られるな ど、年代層もバラエティに富み大変結 構なことと思っています。

特に子供達にとって自然体験は感動 そのものです。そして、アレなぁに? コレはどうして?とまず一緒に来た親 たちにアレコレ尋ねている姿をよく見 かけます。そんなとき、そっと近寄り ながら何かと助言するようにしていま すが、できるだけ最初から「コレは 何々という名前の木だよ」とか言わな あきた環境カウンセラー 自然観察指導員 桃崎 富雄

いようにしております。(実際はスト レートに和名を答える自信も実力もな いからであるが・・・)「この葉っぱは何 かに似てませんか」「触ってみて」「匂 いを嗅いでみて」「実をかじってみて」 などと問いかけながらまず五感で受け 止めて興味と関心をを引くように心が けています。

子供達の五感は鋭いものがあり、ち ょっとヒントを与えるだけでいろいろ な反応を示してくれるので嬉しくなり ます。そしてこの生き物たちがどうし て今ここで生活しているのか、どうい う条件があると将来とも生き続けるこ とができるのかといったことまでに関 心を持ってくれるようになれば大満足 であります。

旭川沿いのクリーンアップ

秋晴れの下、自然に親しみながらご みを拾うという旭川エコ&クリーンウ ォークが行われた。秋田市の太平山自 然学習センター「まんたらめ」から補 陀寺までの約10kmを、ごみを拾いな がら歩き、自然に親しもうというもの で秋田市環境部が主催。

親子連れなど約200人が参加し、4 つのチェックポイントで旭川のことや 環境について学び、道沿いをクリーン アップをしながら補陀寺を目指した。

環境あきた県民フォーラムでは第4 ポイント「未来の環境」ということで、 新エネルギー関連のパネルや風力・ソ ーラーのハイブリッド発電装置展示を 行い、子供たちには燃料電池サーキッ トで楽しんでもらった。ゴールの補陀 寺では、大潟村からお借りしたミニソ ーラーカーの試乗をし、太陽の光だけ で車が動くのを実感していた。

道路沿いには大量のビール瓶や弁当 の空き容器が捨てられているなど、マ



「まんたらめ」をいざ出発!

ナーの低さにがっかりさせられるとこ ろもあった。

連絡先

〒011-0904 秋田市寺内蛭根3-24-3 秋田市環境部 環境企画課

Tel: 018-863-6632 Fax: 018-863-6630 E-mail ro-evrc@city.akita.akita.jp



第4未来の環境ポイント

入会について

あなたも参加しませんか

私たち自身のため、未来の子供たちのため、秋田の環境をよりよくし ていこうというネットワークづくりの団体です。 ホームページやニュースレターを通じて、様々な立場での環境に優し

い行動を紹介し広く連携を呼びかけます。 入会資格は「秋田の環境を大切に思っている」ことだけで、個人、企 業、団体などどなたでも入会できます。

区分	会 費	該当するもの
企業・企業関係団体	1 口: 1万円 年1 口以上	企業・業界団体など
個人・民間団体	1口:1,000円 年1口以上	消費者団体・地域団体・町内 団体・ボランティア団体など

会費納入について

北都銀行 山王支店 普通 6099633 秋田銀行 県庁支店 普通 560425 いずれも環境あきた県民フォーラム宛です。

郵便振替口座 02280-7-76146

なお、ニュースレター送付の都合上、銀行振込の場合は事務局に御住所、お名前を御連絡ください。

環境あきた県民フォーラム事務局

〒010·1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内 FAX 018-829-5803 TEL 090-6781-8040 Eメール mail@eco-akita.org ホームページ http://www.eco-akita.org

フェスティバルなどのイベント目白押しで、すっかり発行が遅くなってしまいました。これでは秋号ではなく、晩秋号ですね。遊学舎からの風景も紅葉

冬場は野外での活動が少なくなるので、じっくり物事を考えたいと思っています。 皆様、体調にお気をつけください。(高村)



県民フォーラム

発行/環境あきた県民フォーラム事務局 〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内 TEL090-6781-8040 FAX018-829-5803 E-mail:mail@eco-akita.org ホームページ:http://www.eco-akita.org



環境大賞表彰式



フェスティバル 木片をハガキに



ソーラーカー試乗



小友沼の渡り鳥



花の広場のミニ花壇(遊学舎)

目 次

第3回あきたエコ&リサイクルフェスティバル開催報告 平成15年度環境大賞受賞 会員活動報告







2003 第3回あきたエコ&リサイクルフェスティバル

催報告

環境について考える機会にしてもらおうと、9月27日(土)・28(日) の2日間、秋田駅前アゴラ広場&ビッグルーフで「第3回あきたエコ&リサ イクルフェスティバル」が開催された。

環境あきた県民フォーラム・(社)秋田県産業廃棄物協会・秋田県鉱業 会・(社)秋田県建設業協会・秋田大学生・秋田県立大学生・秋田県が実行 委員会を組織して主催したもので、43の民間企業や市民団体、秋田大学生、 県立大学生による展示ブース、松くい虫被害木を炭化させる「エコ炭くん」 の実演など、いろいろなイベントが行われた。

2日間ともに暑いほどの好天に恵まれ、約3万7千人の来場者でにぎわい、 環境について考える良い機会になった。

アゴラ広場では楽しみながら「環境」について考えてもらおうという試み で、子供でも体験できるものが多く、ミニソーラーカー試乗や紙すき、木工 工作、フリーマーケットなどは家族連れで大人気。

企業・団体出展ブースでは環境保護の研究発表やエコ製品などに質問をす る来場者が多かった。

27日のオープニングでは川尻小学校のブラスバンド演奏で花を添えてい ただき、その後、15年度の環境大賞の表彰式が行われた。



秋田大学への入学を熱心に勧誘(秋大ブース)



県立大もにぎわってます



あきた環境カウンセラー協議会

両日イベント

- ○「エコ炭くん」実演 松くい虫被害木を炭化 し、でき上がった炭を希望者にプレゼント
- ○ミニソーラーカー展示・試垂 ○ソーラーカー工作教室
- ○木工工作教室(間伐材の利用) ○牛乳パックリサイクル紙すき&絵手紙教室
- ○フリーマーケット
- □ エコ縁日、スタンプラリー

ステージ内容

- ○環境大賞表彰式 ○空き缶つぶし王決定戦
- ○カンキョウマモルンジャー出発式
- 環境ウルトラクイズ
- ○仮面ライダー555ショー
- ○カンキョウマモルンジャー、キャラバン報告



プニング (川尻小学校吹奏楽部)



オープニング (キャラバン隊出発式)



木工教室



牛乳パックの紙すき教室

絵手紙教室 「クリンちゃん切手貼ってくださ~い」

出展企業・団体の一覧(出展内容)

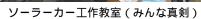
企業・団体名	出展内容	企業・団体名	出展内容
同和鉱業㈱グループ	家電リサイクル、環境関連事業の展示・紹介	東北電力グループ	炭焼きボランティア活動や環境パネルの展示、紹介
秋田環境開発機構㈱	ガラスびんリサイクル製品の展示・販売	NTT秋田グループ	自社の環境活動や生ゴミ処理機(バイオランナー) 自発光ソーラー鋲の紹介
上野台堆肥生産協同組合	下水道汚泥発酵堆肥(コンポスト)の紹介	(株)本金西武	同社の環境対応に関するパネル展示、紹介
雄勝生コン(株)	業務用生ゴミ処理機「マジックバイオくん」、家庭用 生ゴミ処理機「ミニゴン」の展示	㈱タカヤナギ	買い物袋の削減やトレー・牛乳パック・使用済み食用 油の回収などの取り組みの紹介
横手運送㈱	フードリサイクルシステムの紹介とコンポストの展示	(株)販促	自社の環境ISO14001の取り組みや認証取得コンサルの紹介
(削エコ・プラス&生ゴミ110番・秋田	あらゆる有機物を完全分解し、堆肥化するアースラブ酵素のシステムと商品の紹介	秋田大学	リサイクル研究パネルの紹介、超伝導&水処理大実験!
瀬下建設工業(株)	廃タイヤをリサイクルしたゴムチップ舗装材やプレ キャスト芝生、杉樹皮をリサイクルした商品の展示	秋田県立大学	環境家計簿や松食い虫炭化研究の紹介
㈱ウッディさんない	間伐材を利用したウッドチップ舗装材などの紹介	環境あきた県民フォーラム	県、企業、環境活動団体、県民などが参加している当 フォーラムの紹介
秋田県エコサイクル緑化工協会	抜根材などの木材チップをリサイクルした緑化工法 の紹介	あきた環境カウンセラー協議会	環境関連パネルの展示
(有)クリーンカンパニー	同社のリサイクル事業の紹介、廃木材をリサイクル した炭の展示	あきた「地球村」	地球温暖化防止キャンペーンパネル展示や身近な取 り組みの紹介
東北石材ブロック(株)	廃石材や焼却スラグをリサイクルしたブロックなど の紹介	市民風車の会あきた	市民風車「天風丸」自然エネルギー活用への市民の取り組み
(有)カオス・コーポレーション	真砂土と環境にやさしい硬化材でつくる舗装材(ク サナイくん)や鉢の紹介	日本郵政公社	臨時郵便局設置(再生紙はがきや記念切手の販売、記 念消印)
(株)ビッグ	土に還る植木鉢「リサイクルポット」の紹介	(財)東北電気保安協会	電気安全や省エネルギーに関する紹介や相談受付
㈱秋田コクヨ	環境配慮型の文具、事務用品の展示	あきたランドアート協議会	移動式炭化装置「エコ炭くん」を使っての松食い虫被害木の炭化実験
㈱自然科学調査事務所	秋田県の自然環境に関する写真パネル展示、県内に 生息する魚類などの紹介	秋田県森の案内人協議会	間伐材などを用いた木工クラフト教室
東光産業(株)	有機100%で酵素類主成分の植物活性液の紹介	アキタラブライフスクール	牛乳パックを利用した紙すき教室
(株)ダイナミックサニート	殺虫剤散布を必要としないシロアリ駆除法「セント リコンシステム」の紹介	暮らしを考える女性の会	食物廃棄を少なくするためのエコクッキングの実演、 販売
アドバンスクラプ秋田 (三井住友海上火災保険㈱)	環境対応の自動車整備(エコ整備) (サエンジンカット モデルの展示	全日本俳画穂有会	初心者にも簡単にできる絵手紙の描き方教室
八重樫建設(株)	太陽光発電、小型風力発電システムの紹介やIHクッキングヒータの実演	海上保安庁秋田海上保安部	海の環境保全に関するパネル展示
総合改修タナカ	エコマーク認定の屋根の写真パネルやサンプルの紹介	国土交通省秋田河川国道事務所	秋田南バイパスにおける風力発電を利用したロード ヒーティングシステムの紹介
(株)ヴイトラクタ	オガ粉を利用したバイオ発酵による未来型トイレ「バイオR21」の展示、実演	秋田市環境部	ごみ分別相談コーナー、リサイクルの紹介コーナー
㈱丸山サービスエンジニアリング	無農薬、減農薬農業推進の為の電解水生成装置の紹介		•

協替

ш			
1	企業・団体名	企業・団体名	
	同和鉱業㈱グループ	㈱自然科学調査事務所	
	秋田県エコサイクル緑化工協会	(株)丸山サービスエンジニアリング	
	三菱マテリアル資源開発㈱	(株)ホーネン	
	秋田県鉱業会	秋田リコー(株)	
	(社)秋田県産業廃棄物協会	東北石材プロック(株)	
	日本郵政公社	(株)タカヤナギ	
	(株)ISOネットコンサルティング	総合改修タナカ	
	日本大昭和板紙東北㈱	農林中央金庫秋田支店	
	マックスバリュ東北㈱	(社)秋田県看護協会	
	構手運送(株)		









秋大・岩田先生の燃料電池実験室

平成15年度環境大賞受賞



県では、環境保全に関して模範となる活動を行っている個人、 団体を「環境大賞」として表彰し、その事例を県民の皆さんに 紹介している。

今年度の環境大賞(秋田県知事賞)は次の4団体・1個人で、第3回あきたエコ&リサイクルフェスティバルで表彰式が行われた。

エコフェスティバルの表彰風景

YOKOUNフードリサイクルシステム

横手運送株式会社

連絡先 横手市福祉環境部 Tel: 0182-32-3667 Fax: 0182-33-3659

平成11年からフードリサイクルに取り組んでおり、平成12年から横手市のスーパーに生ごみリサイクル機を設置し堆肥を生産している。この堆肥は地元農家に無料配布され、有機野菜栽培に貢献。平成14、15年は、この堆肥を使用し生産した有機野菜を横手市内スーパーの特売会で販売し好評を得ている。

これらの取り組みは産学官の連携で行われており、秋田大学・県立 大学・循環型農業推進チームなどの協力を得ている。



YOKOUN特別試食会

EM菌による生ごみ減量・堆肥化実践活動

井川町生活研究グループ

連絡先 井川町産業課 Tel: 018-874-4418 Fax: 018-874-2600



井川町EMぼかしでつくる堆肥

井川町内では平成9年から「EMボカシ」による生ごみ処理に取り組み、初め会員63名から始まった活動が、現在では全1,700世帯のうち350を超える世帯で活用されている。取り組みの特徴は、EM専用バケツ・EMボカシを希望者に無料提供していること。

また、「ごみゼロあきた推進事業」において秋田中央保健所管内の町村へEMボカシの作り方・EM生ごみ堆肥利用の有機野菜作りの実践指導を行っている。

ポイ捨てごみの清掃奉仕活動

五十嵐昭三さん

連絡先 大潟村役場環境衛生担当 Tel: 0185-45-2115 Fax: 0185-45-2162

店舗経営のかたわら、昭和55年から、村総合中心地内等にポイ捨てされたごみの回収を朝5時ごろから1時間半程度行っている。

また、平成6年に大潟村から環境監視員として委嘱され、不法投棄廃棄物の回収 及び防止指導等に尽力している。



五十嵐さん清掃中

横断地下道クリーンアップ作戦

秋田修英高等学校福祉活動部

連絡先 Tel: 0187-63-2622 Fax: 0187-63-2532



修英高校プランターの苗植え

平成2年に結成された福祉活動部(部員数52名)では平成13年4月から大曲駅と商店街を結ぶ全長33mの横断地下道とその周辺のクリーンアップ作戦を毎週月・木曜日の放課後に実施している。部員からの発案で開始され、H13年度から70回、14年度84回、15年度は8月現在で25回と年々実施回数も増えている。

ほかには生徒会にも働きかけ年3回全校生徒で苗植えをしたプランター115個を地下道周辺に設置して、その後の管理も行っている。

また、H14.10の「エコ・リサイクルフェアin大曲」での活動発表や、国際ソロプチミストの依頼により、環境啓発目的の「環境カード」掲載用イラストを作成している。

小友沼や周辺の自然環境との共生と保護

おとも自然の会

連絡先 能代市役所環境課 Tel: 0185-89-2172 Fax: 0185-89-1769

平成10年に発足し、現在会員は70人で小友沼や渡り鳥の環境保護を行っており、小友沼が「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」に参加登録されることに貢献した。

また、渡り鳥の季節には、市内小中学校を初め県内外からの観察者に対して丁寧な説明をしている。このほかにもロシア鳥類学者による講演、小友沼写真展の実施、年6回の広報発行により、市民への自然環境保護の啓発に努めている。平成14年度は小友沼に会員以外で約977名が訪れた。



渡り鳥の観察会

会員活動紹介

土壌汚染の相談も

エヌエス環境株式会社秋田支店

エヌエス環境㈱秋田支店では、河川、道路、海洋、廃棄物、 大気、土壌などあらゆる分野の調査・分析・評価・計画など の業務を行っており、最近、一般でも関心が高まっている土 壌汚染調査の対応も行っている。

土が汚染されるとどうなる?



ボーリングマシンによる土壌詳細調査

これは今年2月に施行された土壌汚染対策法により、有害物質を扱っていた工場等(有害物質使用特定施設)を廃止する場合、必要と判断された土地の汚染調査が義務づけられたためである。この場合、調査命令の対象者は土地所有者、あ

るいは汚染原因者となる。

秋田県では土地の履歴がはっきりしていることがほとんどで、新しく造成される場合も、搬入される土壌の履歴のチェックが行われていることから安心できる状況にあるが、汚染が疑われる要因のある場合や健康被害がある場合、まず行政の担当窓口・医療機関などに相談するのが一番。

現実的に土壌汚染の調査分析に関して は高額な費用がかかるものであるが、一 般家庭の場合は調査項目数が限られるこ とが多く、比較的安価に調査できる場合 もあるという。

同社では工場等の土壌汚染調査から家 庭菜園の土に関して等々、相談に応じて くれるという担当者の話である。

石材文化を伝える

(株) 寒 風

風光明媚な寒風山は、銘石の誉れ高い男鹿石の産地でもある。天然の石は人にパワーを与えるといわれるが、㈱寒風では、この天然の素材を生かして自然に優しい護岸工事に力を入れている。

十和田湖に注ぐ小坂町の大川岱、大館市の老人福祉施設に隣接した平内川、街のど真ん中を流れる秋田市の旭川・横手市の横手川などの例が挙げられる。これらは、いずれも親水性を持っており、人々に安らぎを与え自然にも優しい護岸工事である。

特に、横手川はその規模の大きさと 石組みの絶妙さは、他に例を見ない美 しさがある。天然石の和み効果で人々 に憩いの場として親しまれており、文 化遺産として後世に引き継がれる。人 工の素材とは違い、天然石は年月を経 ると歴史の重みを感じさせる風格というものが出てくるものと改めて実感した

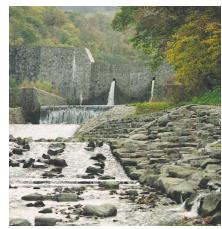
連絡先

〒010-0342 男鹿市脇本脇本字前野1-1 Tel: 0185-25-2222 詳細について

http://www.kanpu.co.jp/honsha/







大川岱

松くい虫被害木の炭焼きプロジェクト

県立大学では「夕日の松原」を拠点に、森林科学講座の小林教授のもと、学生やボランティアの方々の協力で松くい虫被害木の炭焼きが行われている。

この松林では、県農林水産部・企業局・県立大学の三者で協力して松くい虫の被害対策を行っているが、被害木も立派な資源であり、炭化は完全な殺虫ができる方法であることからキャンパス西側に炭焼き窯をつくり、ことしは既に21回の作業が行われている。

でき上がった炭を筏に吊るして八郎 湖浄化に使用したり、副産物としての 木搾液を主原料とする融雪剤の研究も 行われている。

県で発表している14年度松くい虫 被害状況は民有林だけでも3万9千 、このほか国有林1万 の合わせて 5万 弱であり、早急に県民挙げて取 り組む必要があるのは確かである。

何にせよ、重労働をも楽しんでしま う炭焼きプロジェクトの皆さんのパワ ーに脱帽。



炭焼き窯入り口



大修理後の窯全景 本当に重労働



マツノマダラカミキリ成虫 この腕は小林教授



チェンソー指導の上級生

お問い合わせ先 県立大学生物環境学科 森林科学講座 Tel: 018-872-1618Fax: 018-872-1677 小林 一三教授

夕日の松原クリーンアップ大作戦

9月13日(土)「夕日の松原クリーンアップ大作戦」が行われた。

秋田市飯島から天王町出戸の海岸沿いに広がる「夕日の松原」は、先人の努力により作り上げられた松林で、日本海の荒波や強風から私たちを守っている。しかし、近年、松くい虫被害の拡大やごみの不法投棄などによる環境の悪化が心配されていることから、ボランティアや関係機関の協力のもと、秋田県秋田地域振興局森づくり推進課が主催して、クリーンアップ作戦を実施した。

当日は台風による雨や風が心配されたが、きれいに晴れ上がり、朝8時の出戸浜海水浴場での開会式には、ボランティア団体のフィロス秋田や周辺企業、天王町職員互助会、行政関係者などのほか、テレビやラジオでクリーンアップを知った人々など、400人以上が集まった。

開会式後、それぞれの担当地区に車 などで移動して、クリーンアップを開 始。心ない人が捨てたと思われる空き 缶やペットボトルなどでごみ袋はあっ という間にいっぱいになり、特に松林内には発泡スチロールの箱やタイヤ、電化製品など、思わぬものが放置されていた。延べ延長15km、2時間ほどのクリーンアップで、2トントラック16台分ものごみが集まった。

このクリーンアップは平成13年から毎年1回実施され、今年で3回目。年々参加者が増えており、活動の輪は着実に広がっている。こうした活動を大々的に行うことで、ごみを捨てる人が一人でも少なくなればと期待。

問い合わせ 秋田県秋田地域振興局森づくり推進課 (電話018 - 860 - 3382)



いざ出発!



出戸浜海水浴場に集合した参加者



みんなで拾ったごみの山



松林の清掃中

クリーンエネルギーフェア

9月6日(土)・7日(日)の両日、 能代市総合体育館を会場に「クリーン エネルギーフェア」が開催された。秋 田県・能代市・東北経済産業省・(財) 新エネルギー財団の主催によるもの で、「能代市産業フェア」との同時開 催となった。

会場ではクリーンエネルギー自動車 の展示・試乗会や、新エネルギーに関 する製品展示、親子ソーラーカー工作 教室などが行われた。

そのほかに、新エネ施設見学ツアー も行われ、あいにくの雨模様の中、家 族連れで風力発電やバイオマス発電の 施設を回り最新の発電装置を目で確認 した。

来場者は1万2千人を数え、展示されている電気自動車の中には、大館市で実際に民間企業の業務用に使用されているものもあり、試乗者が150名を超えるなど人気が集まった。また、展

示されている家庭向けの小型風力発電機の値段などの質問が集まるなど、市民レベルでの認知度が高まっているようだ。このフェアは平成11年から、秋田、横手、大館、で開催されており、今回が5回目。

連絡先 秋田県資源エネルギー課 TEL018-860-2281



いろいろなクリーンエネルギー自動車



環境紙芝居に見入る



小型風力発電機の展示



風力発電所の見学